

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

リハビリテーション実施患者における Phase Angle によって測定された部位別の筋質が日常生活動作能力に与える影響

1. 研究の対象および研究対象期間

2024 年 6 月 1 日～2025 年 6 月 1 日までに昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院回復期病棟に入院された患者さん

2. 研究目的・方法

<目的>

日本は入院患者における高齢者の割合が急増し、入院時と比べて退院時に日常生活動作能力が低下する患者の割合も増加しており、リハビリテーションの重要性は年々高まっています。リハビリテーションの効果は栄養状態の影響を受けることが知られており、栄養と運動の両立は重要課題となっています。

回復期リハビリテーション病棟では、体組成検査を用いた筋量の評価を全患者さんに行い、栄養管理や運動療法に活用していますが、「筋量」と同時に測定される「筋質」は活用が十分ではありません。近年、この「筋質」は栄養状態を反映し、生活動作能力や予後との関連が報告されていますが、従来の研究では右半身の「筋質」を全身の代表値として用いられており、部位別（例：手足や体幹）の「筋質」と生活動作能力との関連性については不明な点が多いのが現状です。

本研究は、リハビリテーション治療の質を高める知見を得ることを目的に、部位別の「筋質」と生活動作能力との関連を明らかにします。

<方法>

- ・体組成測定によって得られた「筋質」の部位別の特徴を調査する。
- ・部位別の「筋質」が生活動作能力に及ぼす影響を検討する。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

- ・ 患者背景：年齢、性別、身長、体重、日常生活自立度、診断名、併存疾患、治療歴、入院日数
- ・ 血液検査：ヘモグロビン、血清アルブミン、C 反応性タンパク質、HbA1c
- ・ 栄養評価：栄養評価スクリーニング（MNA-SF）、低栄養評価（GLIM 基準）、摂取栄養量、食形態
FOIS (Functional Oral Intake Scale)、体重変化
- ・ BIA 法で測定された体組成評価：筋肉量、脂肪量、体内外水分量、部位別 Phase Angle
- ・ 口腔機能：Oral Health Assessment Tool (OHAT)
- ・ 筋力、ADL：握力、日常生活機能自立度（FIM）
- ・ 転帰：退院先

5. 外部への試料・情報の提供

該当致しません

6. 研究組織

研究責任者：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター 最上谷 拓磨

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター 氏名：最上谷 拓磨

住所：〒227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2 丁目 1 番 1 号

電話番号：045（974）2221（平日 8:30～17:00）